

埼玉県立循環器・呼吸器病センターだより

発行：埼玉県立循環器・呼吸器病センター（地域医療連携室）

〒360-0197

埼玉県熊谷市板井1696 電話048-536-9900

【ごあいさつ】

春まだ浅い今日この頃、皆様におかれましては、ますますお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

今年の冬は、各地で記録的な寒さだったためか、当センターでも脳血管疾患や循環器系疾患の方のほか重症のインフルエンザの方を多数ご紹介いただき、治療を行いました。期待される役割を少しは果たせたのではないかと考えております。

さて、当センターでは、3月に腎・透析センターが開設されます。これまで以上に皆様と連携を図りながら取り組んでいきますので、今後ご指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

病院長 星 永進

県立病院として初めての透析施設である腎・透析センター開設のお知らせ 当院における透析医療及びアフェレーシス治療の取り組み

腎臓内科 医長 清水 泰輔

【はじめに】

昨今、新たな国民病として慢性腎臓病患者は1,300万人にまで増加してきています。そして慢性維持透析が必要となる新規導入患者の平均年齢は69.4歳と年々と高齢化の傾向にあり、さらに65歳以上の高齢者が約70%を占め、透析患者の高齢化が問題となっています。また透析が必要となる慢性腎臓病の原因疾患は生活習慣病の代表である糖尿病や高血圧が半数以上を占めています。このため慢性腎臓病は高血圧や糖尿病を主体とした疾患を多く含みます。

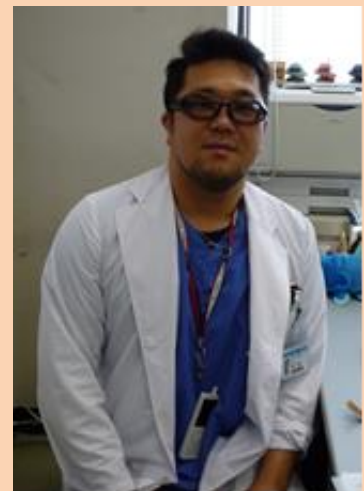
さて、当センターは臓器別に特化した診療を行っており、地域医療施設から専門性に即した手術や治療を必要とされ、患者さんを紹介いただいております。特に循環器内科、心臓外科、血管外科領域の疾患

は慢性腎臓病を併発している事が多く、手術や治療の急性期において予備能力が減っている腎臓病は、一時的に急激な悪化をする事が少なくありません。

このような現状に対して当センターでは平成28年4月より腎・高血圧内科（現腎臓内科）が新設され、他科入院患者における腎障害の急性増悪に対して腎代替療法として「血液透析」の導入及び管理を主体として診療を行ってまいりました。

また、透析医療は看護師、臨床工学技士、（管理）栄養士など多職種が関わりを必要とする領域でもあるため、院内体制の構築に取り組み、診療体制を整えて参りました。

（次ページへつづく）



【透析療法選択とライフスタイルの維持】

そして次に「腹膜透析」の導入及びその管理体制の構築に取り組みました。一般的に「透析」と言えばやはり血液透析を連想されるかと思えます。実際に腎代替療法として血液透析が97%を占め、腹膜透析はわずか3%程度に過ぎません。腹膜透析は実施施設が少ないが故にその認知度も低いのが現状であり、当科開設時の県北部地域において腹膜透析導入が可能な施設はわずか1施設でした。腹膜透析はライフスタイルを保ち腎不全の治療が可能な点が最大のメリットです。しかし、医療機関からの情報提供がなければ選択される事はありません。そもそも、腎代替療法そのものは患者自身が希望して行う治療ではなく、必要に迫られ、思い悩み、そして受容して選択する治療です。自身のライフスタイルの一部となる治療であることから、より本人の人生観を含め、ライフスタイルに即した治療法を患者と共に検討する「透析療法選択」が重要です。県北部地域において腹膜透析導入施設が増える事は、より良い「透析療法選択」の一助になり得ると考えております。また近年において、「腹膜透析」は腎代替療法が必要になる前段階である保存期腎不全の延長として位置付けられ、その認識が高まっています。「腹膜透析」は残存した腎機能を血液透析よりも保つ事が可能であり、自尿が得られる事自体が、生命予後と関連していると言われていています。このため「透析療法選択」は「血液透析か腹膜透析」ではなく、残腎機能の保持を期待して「腹膜透析を行うかどうか」に変遷してきています。この考え方に基づき腹膜透析（週5日）と血液透析（週1日）を併用した導入例も増加傾向にあります。今後とも当科では「透析療法選択」を重視し、患者さんのライフスタイルに最も即した治療法を可能にしていきたい所存です。

【アフェレーシス療法】

さらに当センターではLDL吸着療法、エンドトキシン吸着療法、血漿交換療法（単純式、選択式）などに代表される病因物質の除去を目的としたアフェレーシス治療も行なっています。直近では呼吸器内科と連携し、膠原病に合併する間質性肺炎や特発性肺線維症の急性増悪時のエンドトキシン吸着療法、血管炎に対しての血漿交換療法など急性期における異常免疫活性の抑制に対して積極的に施行しております。

【透析用バスキュラーアクセスの管理】

血液透析に欠かせないものとしてバスキュラーアクセスがあり、内シャントはその代表と言えます。当科ではシャント作製から修復まで行なっております。定期的な内シャント血管の観察、シャント狭窄による脱血不良や止血困難などトラブルが生じた場合には日帰りでVAIVT(vascular access intervention therapy)を行なっております。

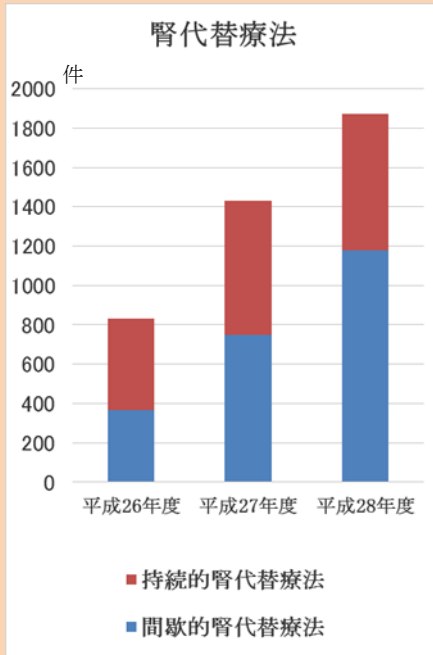
【診療実績と腎・透析センターの開設】

当科開設以降、他科および周辺地域の先生方からの御紹介・御協力もありまして透析・手術件数は年々増加傾向です(グラフ1～3)。深く感謝いたしますとともに厚く御礼申し上げます。

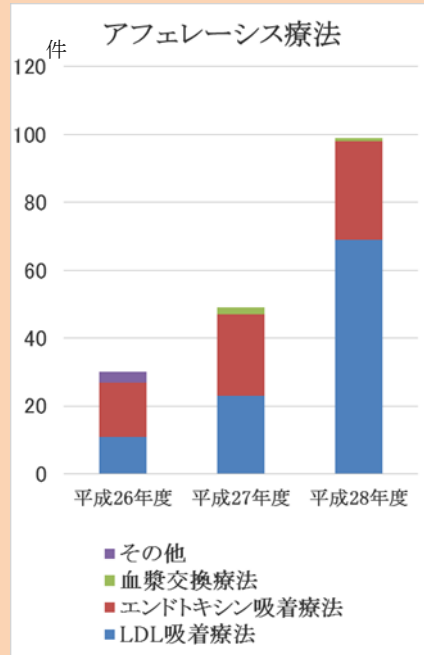
平成30年3月26日には当センターに腎・透析センターが開設されます。透析ベッド数は一般6床、個室2床で入院透析管理だけでなく、外来透析患者の受け入れも想定し、順次10床まで増設を予定しています。上述の腎不全療法や腹膜透析・アクセス関連などの専門外来を行う診察室も完備しています。

腎臓病や透析関連で何かありましたら当科へ御紹介いただけましたら幸いです。今後も他科・多職種との連携を通じて地域医療の発展に努めてまいります。
(次ページへつづく)

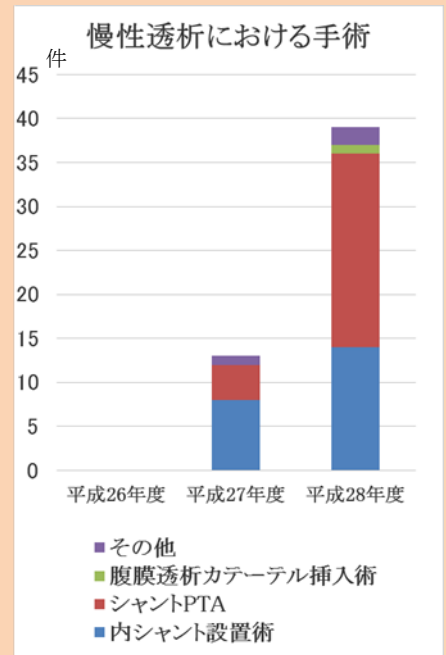
グラフ1



グラフ2



グラフ3



病診連携会を開催

【本庄市児玉郡医師会】

2月7日（水）に本庄市児玉郡医師会様との病診連携会を開催しました。

当日は、本庄市児玉郡医師会28名、当センター17名、合計45名の先生方に参加していただきました。

はじめに、高橋会長より、専門的な治療のさらなる充実を図っていただきたいと、ご挨拶をいただきました。

講演では、当センター腎・高血圧内科清水医長が「慢性腎臓病の管理について」を、呼吸器外科高橋副部長が「肺癌手術と薬物療法 最近の話題」を発表しました。情報交換会においても活発な意見交換が行われました。今後も、より一層、連携を深めていければと思っております。



出張いきいき健康塾 in 川本公民館を開催します

テーマ「肺炎のはなし～肺炎球菌ワクチン等～」

講師：循環器呼吸器病センター副病院長 柳澤 勉

日時：平成30年3月15日（木）14時～15時

場所：川本公民館（研修室）（深谷市菅沼1009）

参加費・参加方法：無料。参加ご希望の方は事前申し込みをお願いします。なお、当日の参加も受け付けます。

申込先：循環器呼吸器病センター

地域医療連携室 かんのもてぎ 菅野・茂木

月曜日～金曜日（平日）8：30～17：00

☎048-536-9900 内線 2190

循環器小児科の

外来日を変更します

4月から循環器小児科の外来診療は、原則として毎月第1・3水曜日となります。

なお、これらが祝日に当たる場合は第2又は第4水曜日に、また、学校の長期休業期間中は毎週水曜日に行います。

平成30年3月1日

外来診療スケジュール

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
循環器内科	本館⑥	肺血管外来	藤原 堅祐	藤原 堅祐	榊 敬人	利根川 玲奈 <small>心臓カナルコイルドレージス (第2週)</small>			藤井 真也	藤井 真也
	本館⑦	村上 彰通	中島 崇智	中島 崇智	鈴木 輝彦	河邊 篤彦			宇野 剛輝	宇野 剛輝
	本館⑧	宮本 敬史	武藤 誠	武藤 誠	永吉 信哉	永吉 信哉			ベースメーカー (第5週休診)	下肢血管外来
	本館⑨	福島 啓介	弁膜症外来	石丸 安明	今井 忍	ベースメーカー (第5週休診)				
循環器小児科	本館②				菱谷 隆					
腎臓内科	本館①							清水 泰輔		
	本館②		山本 亮							
	本館⑦							清水 泰輔		
	本館②			花井 信	花井 信	小野口 勝久				
心臓外科	本館③							織井 恒安	織井 恒安	阿部 貴之
	本館⑥									
血管外科	本館①									
	本館②	血管外科 (初診)				血管外科 (初診)				百川 文徳(午前)(第1・3・5週) 閉塞性動脈硬化症・静脈瘤(午前)(第2・4週)
	本館③									
脳神経外科	本館①									
	本館③	埼玉医大脳卒中 外科医師								埼玉医大脳卒中 外科医師
	本館⑤	伏原 豪司								池田 俊貴
	新館⑩	倉島 一喜								西田 隆
	新館⑪	小田島 丘人								鍵山 奈保
呼吸器内科	新館⑫	石黒 卓								中元 康雄
	新館⑮	高久洋太郎								河手絵理子
	新館⑯	太田 池恵								小島 彩子
	新館⑦									黒澤 永 (再診)
呼吸器外科	新館①	星 永進								諸岡 宏明
	新館②	揖斐 孝之								堀内 翔
消化器外科	新館③	神山 陽一								神山 陽一
	治療棟	洲川 明久								洲川 明久
放射線科	RI・ RI-7/9/棟	叶内 哲								
	RI・ RI-7/9/棟	松本 寛子								
	RI-7/9/棟	松本 寛子								

*循環器小児科は平成30年4月より、第1、第3水曜日となります。

※ 当院は、紹介制・予約制の医療機関です。初診の方は、紹介状が必要です。かかりつけ医等に
ご相談いただき紹介状を入手してから、事前の予約(予約専用電話)をお願いいたします。
※ 初診の方は、上記スケジュールにかかわらず、原則として11時までに受付してください。
ただし、「血管外科(初診)」「月曜・水曜・木曜」の方は、必ず8時15分に受付してください。
また、放射線科は、月曜・水曜の午後のみ受け付けます。

埼玉県立循環器・呼吸器病センター
住所 〒360-0197 熊谷市坂井1696
TEL 048-536-9900(代表)

◎ 予約専用電話 048-536-9911
受付 月～金曜日 8:30～17:00
*翌日分の予約は16時まで